

相模原市 モデル地区の取り組み事例

麻溝地区 麻溝買物支援プロジェクト



令和5年3月22日(水)

麻溝地区地域ケア会議地域づくり部会
部会長 安藤 正義

麻溝地区について①

(住民基本台帳人口
R4.10.1現在)

- 人口: 18,888人
- 高齢者数: 4,171人
- 高齢率: 23.2%



麻溝地区について②

- 相模川沿いの上段、中段、下段の階段状の3地域に分かれ、高低差は各段で30mあり、それぞれの地域の境は、急斜面になっているため地形特徴から、徒歩、自転車での移動、買い物等が難しい地域があります。



移動支援推進モデル事業 地域づくり部会の取り組み経過

年度	取組の内容
平成30年	<ul style="list-style-type: none">部会で「地域住民と福祉施設が連携する外出支援の検討」をスタート「住民主体で取り組む移動支援について」葉山町社会福祉協議会へ視察研修を実施。
平成31年 (令和元年)	<ul style="list-style-type: none">高齢者移動推進モデル事業への取り組み申請→決定外出に関するアンケート調査項目の検討→実施 (・配布数：782・回収数：386)
令和2年	<ul style="list-style-type: none">外出に関するアンケート調査結果を基に課題分析車両等近隣の法人等への打診開始
令和3年	<ul style="list-style-type: none">外出に関するアンケート調査を基に、モデルを「古山台」「当麻・市場・芹沢」地区に指定3法人から車両協力の快諾
令和4年	<ul style="list-style-type: none">「古山台地区」での利用者及び支援ボランティアアンケート実施令和5年1月20日「古山台地区」で試験運転実施 4名参加

高齢者移動支援推進モデル事業 取り組み経緯

- 高齢者の免許返納などの買い物困難ケースの送迎について課題把握
- 試行的に送迎を施設の車両で実施
- 地域づくり部会にて平成30年12月葉山町社会福祉協議会の「住民主体で取り組む移動支援」を視察
- 視察研修を受け、福祉施設が多い地域特性を生かし、福祉事業所と地域住民が協働する生活支援の仕組みづくりを目的とする福祉施設間の協議体を設置予定

こうした背景を基に地域の状況に応じて、地域の住民や関係機関が協働で「地域と住民主体による送迎」を検討

相模原市の高齢者移動支援推進モデル事業として、「地域住民と福祉施設が連携する外出支援」を申請

令和元年9月30日モデル地域決定

移動支援の推進について検討

- ◆移動支援事例を基に、麻溝地区の移動支援の推進について検討を行うため、「地域づくり部会」が実態把握を目的としたアンケート調査を令和2年1月～3月に実施

- 配布数：782
- 回収数：386
- 配布方法：地域づくり部会構成団体による配布（自治会連合会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、ふれあい・いきいきサロン、体操等集いの場、介護保険事業所等）

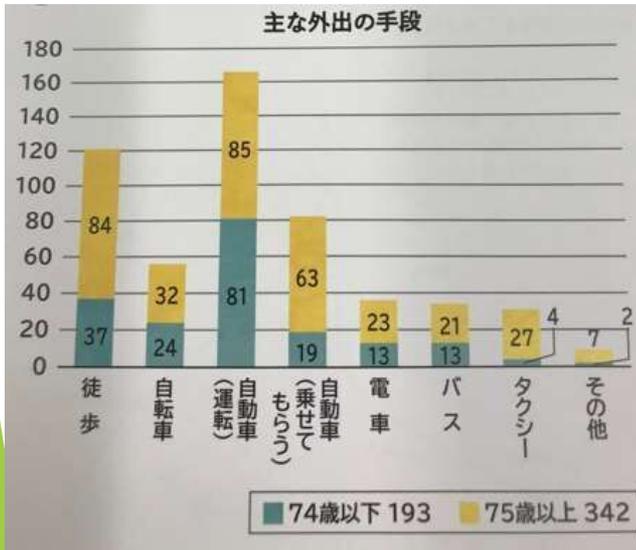
移動支援の推進について検討

◆アンケート項目

- ①回答年齢
- ②65歳以上の世帯構成
- ③回答者地域
- ④主な外出の目的について
- ⑤主な外出手段について
- ⑥外出の頻度について
- ⑦外出について困り感
- ⑧外出についてどのような困りごとを感じているか
- ⑨外出のサポートとして利用したい支援

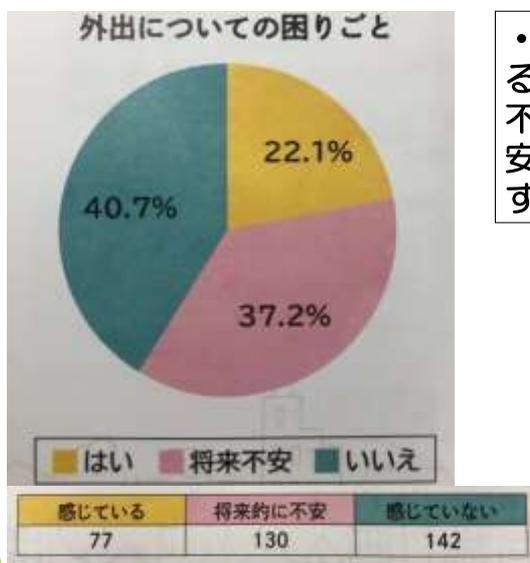


主な外出の手段(複数回答)



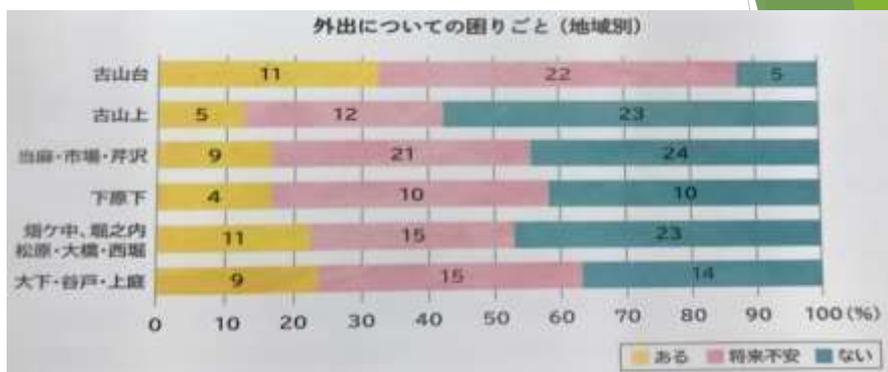
・外出手段は、自動車（運転）が最も多く43%に及んでいます。また75歳以上（単身・夫婦）の133世帯中85世帯（64%）が自ら運転を行っています。

外出についての困り感



・65歳以上の回答をみると、59.3%が、現在不安、あるいは将来不安があると答えています。

外出についての困りごと(地域別)



駅から離れている地域としては、「古山台」「古山上」「当麻・市場・芹沢」「下原下」、「畑ヶ中・堀之内・松原・大橋・西堀」「大下・谷戸・上庭」の6エリアを選定。
 ・古山台地域では(回答38世帯)困りごとを感じている11世帯と将来不安の22世帯を合わせると87%となっていました。

外出支援試行地域 「古山台地区」「当麻・市場・芹沢地区」に決定

アンケート結果を踏まえ、

- 「古山台地区」高齢化率41.5%
- 「当麻・市場・芹沢地区」高齢者の多い地区

※両地区とも買い物店舗との高低差が30m以上あり徒歩・自転車が多い。



試行買い物支援送迎事業(案)を地域 づくり部会で決定【古山台モデル】

【古山台地区モデル】

目 的	買い物などの日常生活に関する外出支援
送迎方法	近隣福祉施設の車両を活用予定
実施場所	利用希望者宅からスーパー三和麻溝店まで往復
実施頻度	月1回から4回程度
利用料	登録制とし、月300円の会費を徴収する予定
対象者	バス停までの歩行が困難と感じる方
※原則、乗車から買い物までの移動を一人で行える方が対象です。	

アンケートを基に「古山台地区の利用希望者 アンケート」を実施(令和3年4月)

送迎利用希望者6名
地区内の支援ボランティア協力者3名

車両等の提供支援依頼として
地区内の社会福祉法人、企業、団体へ打診

3法人から協力提供を快諾



実施に向けた利用者との意見交換

- 集合乗車場所・帰宅下車場所
 - 月内希望回数
 - 希望時間
 - 買い物時間
- 等について意見交換がされました。

◆参加者意見

- 80代後半の参加者で「次の免許更新時に返納するので、買い物支援の実施をお願いしたい」との切実な意見もありました。



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子①

- 日時：令和5年1月20日(金)午前10時～11時35分
- 対象者：バス停までの歩行が困難な方 **4名参加**

①10時00分 三ノ原公園に
集合 検温・消毒



②10時00分 車両到着



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子②

③10時10分 分かれて車両乗車



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子③

④10時15分 三ノ原公園を出発



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子④

⑤10時25分
スーパー三和に到着
車両下車



⑥10時30分
スーパー三和で買い物スタート



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子⑤

⑦11時10分
買い物を終えて集合場所へ



⑧11時15分 荷物の積み込み
⑨11時20分 スーパー三和出発



麻溝地区地域づくり部会移動支援プロジェクト 「古山台地区」移動試験運行の様子⑥

⑩11時35分
三ノ原公園到着



⑪11時35分
三ノ原公園で散会 各自自宅へ



買い物試験運行を終えての参加者の意見

- 品物を見れてとても良かった。
- 買い物時間は1時間くらいあるといい。
- 月1回～2回実施して欲しい。
- 出来れば100円商品、苗も見たい。
- 重い品物を買った時は自宅前で下車させて欲しい。
- 買い物は付き添いなく一人で買い物をしたい。
- 送迎車両表示マグネットは、前と後ろに貼ってあると分かりやすい。



今後の麻溝地区地域ケア会議地域づくり部会 移動支援プロジェクトについて①

◆古山台地区

- ・月1回開催のペースで本実施に向けた調整

◆他地区への活動展開のために

- ・地域づくり部会が中心となり、地域内の福祉法人、企業、団体等に車両・運転協力要請を実施



今後の麻溝地区地域ケア会議地域づくり部会 移動支援プロジェクトについて②

◆本実施に向けた協議体の設置

- ・利用者と車両協力法人等との調整役を部会員である麻溝地区社会福祉協議会へ打診
- ・本実施に向けた利用者との調整役、車両・運転協力法人等の協議体の設置に向けた調整



ご清聴ありがとうございました。

麻溝地区地域ケア会議地域づくり部会
部会長 安藤 正義